

令和8年度 いろはさくら学園 志木市立志木小学校
第2回学校運営協議会

1 開催日時 令和8年7月7日（火）10時30分から13時00分

2 場 所 志木市立志木小学校 第二会議室

3 出席者

村田 昌市	西浦 建貴	竹田 秀樹	西川 和人
長島 啓真	並木 貴子	野口 敏明	松本 秀之
小玉 かおる			

【事務局 記録 仲尾 健、金子 博一】

4 報告事項

(1) 第1回学校運営協議会議事録について

- ・前回議事録を確認し、内容について了承された。

(2) 小中一貫教育の取組について

- ・「いろはさくら学園」として小中一貫教育を推進。
- ・3校合同による授業研究会や教職員研修を実施。
- ・保護者・地域向けに「いろはさくら学園ニュース」を発行し、取組を発信している。

(3) 学校の現状について

①児童の状況

- ・現時点で重大ないじめ事案は確認されていない。
- ・不登校児童3名、不登校傾向児童4名について組織的に支援を継続している。
- ・学校生活アンケートを実施し、夏休み明けも児童の様子を丁寧に見守る。

②生徒指導

- ・SNS利用によるトラブルが発生しており、情報モラル教育を継続して実施する。
- ・保護者への注意喚起も行った。

③働き方改革

- ・超過勤務時間の管理強化
- ・ふれあいデーの実施
- ・ICTを活用した情報共有
- ・学校徴収金のWeb化
- ・ペーパーレス化の推進
- ・時間外勤務は減少傾向にあり、働き方改革について協議会として承認された。

(4) 学校行事報告

- ・主な行事として次の報告があった。
- ・クリーン作戦 ・修学旅行 ・給食試食会 ・地域企業との連携学習
- ・特別支援学級交流会 ・5年社会科見学 ・4年福祉体験 ・食育活動

- ・七夕集会
- ・児童が主体的に活動し、地域との連携も充実していることが報告された。

5 協議事項

(1) 学校運営協議会の在り方

- ・コミュニティ・スクール制度について確認した。
- ・学校・地域・保護者が連携する仕組みづくりの重要性を共有した。
- ・委員それぞれが地域との橋渡し役となることを確認した。

(2) コミュニティ・スクール研修会報告

- ・会長より研修内容について報告があった。
- ・地域学校協働活動の事例紹介
- ・学校応援団の活動内容
- ・コーディネーターの役割
- ・地域と学校が連携した教育活動
- ・今後も志木小学校に合った形で地域との協働を進めることが確認された。

(3) PTA の現状について

- ・PTA 会長より報告。
- ・自由登校への移行は大きな混乱なく実施されている。
- ・通学時の安全確保が今後の課題。
- ・PTA 役員の担い手不足が深刻化している。
- ・将来的な PTA 組織の在り方について継続して検討する。
- ・委員からは、地域全体で子どもを支える仕組みづくりの必要性について意見が出された。

(4) ビオトープボランティア募集

- ・ビオトープ管理を支援する地域ボランティアを募集予定。
- ・教職員の負担軽減と児童の活動支援を目的とする。
- ・募集方法や活動内容について調整を進める。

6 その他

- ・地域の夏祭りは暑さ対策を講じながら実施予定。
- ・地域行事への児童参加について情報共有を行った。

7 次回開催予定

- ・日時（予定）：令和8年9月30日（水）10時30分～（第一候補）